

## 横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成 23 年度事業報告書

### 1 一次相談支援機関としての機能強化

地域の重要な相談拠点としての役割を果たすために、利用者に地域の精神保健福祉サービスを効率的に提供するケアマネジメント機能を発揮しました。

面接・訪問同行の充実や個別支援計画の改善を図りました。家族に対しても相談・訪問などを通して適切な支援を行いました。

(1) 地域の精神保健福祉関係機関によるスタッフ連絡会や自立支援協議会での連携を進めました。

【地域連携の5つの基本方針】

- ① 日常的なかかわりから具体的な連携を図る
- ② 地域と顔が見える連携を図り、信頼関係を築く
- ③ 連携によって生まれるメリットを地域で共有
- ④ 「制度の隙間」を埋める新たな支援サービスを生み出す連携
- ⑤ 施設の機能や個性を発揮し協働に生かす

(2) 他の施設との連携による事業展開を図りました。

菅田地域ケアプラザとの共同企画による地域支援事業を実施しました。

- ア 地域住民を対象とした生活支援センターの啓発
- イ 地域で過ごす居場所支援として、プログラムを組み込んだフリースペースの開催
- ウ 当事者や家族の把握・相談・支援の実施

### 2 精神障害者地域移行・地域定着支援事業の推進

退院促進支援事業で培った実践を発揮し、今年度も複数の関係機関が有機的に連携するというケアマネジメントの共通概念を基軸に、「点」ではなく「面」での支援を展開しました。

この実現を目指し、生活支援センターのネットワーク強化を進めました。

(1) 地域移行・地域定着支援を推進しました。

精神障害者の地域での自立した生活の定着と継続に向けて重要な役割を果たしました。

長期入院者に予測される「高齢化」「生活能力の低下」「社会適応力の低下」に対して、生活訓練及び評価、地域支援体制の整備を行いました。

(2) ケアマネジメント機能による地域支援に生かしました。

- ア 自立支援協議会やスタッフ連絡会などのネットワーク会議をさらに発展させ、退院促進と地域移行に取り組みました。
- イ 総合保健医療センターの機能を活かした地域移行システムづくりをすすめました。
- ウ 横浜市の施策に対応し、より積極的に支援に取り組みました。

### 3 自立生活アシスタント事業への取組

「横浜市総合保健医療センター」において先行実施してきた経験・知識を活かし、支援プロセスを原則踏襲し利用者支援を進めました。

(1) ケアマネジメント手法に基づく個別支援を行いました。

利用者の地域生活を支援するため、地域の訪問看護やホームヘルプなどの事業と連携して支援体制をつくりました。

(2) 精神科医が支援のバックアップを行いました。

利用者の支援方法について多角的に検討するため、財団の精神科医との面談を行いました。

(3) 地域へのPRを行いました。

積極的に関係機関に出向くと共に、地域の方々にも事業啓発を行いました。

### 4 生活レベルへの支援を中心とした従来の機能と相談支援機能の協調の推進

**精神障害者が地域で安心して生活を送るために、横浜市の生活支援センターには次の3点を不可欠な機能として求められています。これらを踏まえて多角的な視点を持って支援しました。**

① 生活の支援（地域生活の維持）

安心した地域生活の継続のために、いつでもサービスを提供できる体制整備を目指しました。

② 生活の相談（地域生活における問題解決）

幅広い相談に応じ、地域の課題の把握に努め、ケアマネジメントの機能を発揮しました。

③ 地域連携・地域交流（地域ネットワーク構築）

関係機関との連携や交流から、新たな支援サービスの発展を図りました。

(1) 生活支援センター利用者および単身生活や高齢の精神障害者並びに家族に向けての啓発セミナー・家族教室や生活教室を開催しました。

ア 各種制度利用についての講座

イ 家族教室・生活講座等

(2) ピア活動の充実

ピア活動希望者を対象とした研修を実施しました。

地域移行・地域定着支援事業や各種プログラム・業務におけるピア・サポーターの活用を図りました。

(3) 精神障害者の再発予防の観点から、日中のやすらぎの場の保障を重要課題と捉え、いつでも利用できる居場所づくりを行いました。

ア 季節感のある館内の環境整備を行いました。

イ 館内で過ごす利用者との生活場面面接を実施しました。

ウ アンケート、提案カードや利用者ミーティングなどを活用し、利用者ニーズの把握とサービスの改善を実施しました。

## 5 業務運営推進

### (1) 広報

神奈川区生活支援センター便りやリーフレット等の作成及び横浜市総合保健医療財団のホームページにアップする等、地域への広報を充実させ、利用促進を図りました。

#### ア 神奈川区生活支援センター便り（毎月発行）

A 3 二つ折り

※ 神奈川区生活支援センター便りの配布先（メール送信先含む）

来館者を始め、行政機関及び医療・福祉・作業所・グループホーム・団体などの関係機関

#### イ リーフレット

神奈川区生活支援センターの紹介や利用案内を掲載したリーフレットを作成

※ リーフレットの配布先

新規利用や見学等の来館者

#### ウ 横浜市総合保健医療財団ホームページの活用

神奈川区生活支援センター便りを横浜市総合保健医療財団のホームページに掲載

### (2) 人材育成の取組

専門知識の取得や相談支援スキルの向上等、職員の資質の向上を図るため、各種研修への参加や自己研鑽の取組を進めました。

### (3) 個人情報保護の徹底及び緊急時の対応

当事者及び家族等の個人情報の保護を徹底するため、職員研修を実施しました。

ヒヤリハット・事故報告・他機関での事例を共有し、必要な事故防止策を講じるとともに事故発生時等緊急時に迅速且つ的確な対応をとりました。

### (4) ニーズ把握と苦情処理等

利用者ミーティングの開催やフリースペースに設置される意見箱等を通じて、利用者からの意見に耳を傾け、定期的にアンケートを実施し、神奈川区生活支援センターの運営に反映させました。

苦情処理については、神奈川区生活支援センターの利用者や家族等関係者に、苦情処理の仕組みや受付担当者、解決責任者の名前を神奈川区生活支援センター内に掲示し周知するとともに、出された苦情について迅速で適切な解決を図りました。

横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター 平成23年度 利用状況及び支援内容

(1) 利用状況及び支援内容

(人)

(日)

全体	内訳					
	本人(男性)	本人(女性)	家族	ボランティア等	電話	訪問同行
33,167	12,385	3341	49	358	16,814	220

開所日数
354

(2) 相談支援

ア 相談支援

(人)

合計	電話(再掲)		面接		訪問・同行(再掲)		面接(非構造)	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20,308	7,478	9,336	588	437	143	77	1,350	899
1日平均	47.5		2.9		0.6		6.4	

イ 嘱託医相談

(人)

嘱託医相談(精神科・内科)				
実施回数	合計	男性	女性	家族等
47回	36人	24	12	0

(3) 生活支援

(人)

食事サービス			入浴サービス			インターネットサービス		
合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
8,695	6,073	2,622	3,851	3,562	289	616	448	168
1日平均	24.6		1日平均	10.9		1日平均	1.7	

(4) 利用登録内訳

利用登録の有無にかかわらずセンターは利用できますが、食事、入浴サービスを利用する場合には登録が必要です。

ア 男女別・年齢別

(人)

(歳)

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～(歳)	合計
男性	1	33	126	200	141	137	638
女性	1	13	74	93	58	43	282
合計	2	46	200	293	199	180	920

最高	最低	平均
88	19	48.5
78	19	46.1
88	19	47.7

イ 区別内訳

(人)

鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子	金沢
106	357	16	68	53	17	36	24	16	13
港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷	市外他	合計
82	22	6	11	14	5	11	11	52	920

(5) 自主企画事業

スタッフが企画をしているプログラム以外に、利用者が中心となって企画運営を行うサークル活動があります。また、地域住民を対象としたボランティア講座や、家族を対象とした家族教室等も実施しています。

	名称	回数	参加人数
プログラム・行事	利用者ミーティング	12	99
	映画会	12	63
	昼食会	12	61
	季節行事（お正月、ひなまつり、お花見、花火見物）	6	49
	バスハイク・バスハイク実行委員会	2	47
	カラオケアワー	14	131
	就労相談	3	3
	就労講座・SST	23	125
	パソコン講座	4	10
	ピア活動	19	194
	地域生活支援事業（ふらっとほっと菅田）	25	107
	リワークフォローアップ事業	13	93
退院促進啓発事業、打合せ	16	300	
サークル	スポーツサークル	14	129
	Café de すいーつ	12	68
	カメラの会	6	16

その他	家族講座	2	54
	消防訓練	3	25
	神奈川区生活支援センター運営連絡会	2	46
	夕食サービス向上委員会	12	98
合計		212	1,718

(6) 地域交流

名称	回数	人数
福祉まつり、お祭りを楽しむ会実行委員会	2	8
町内会、盆踊り	2	7
わかば会（家族会）例会	7	26
納涼会、納涼会会議	2	117
クリスマス会、クリスマス会打ち合わせ	3	144
にじの会お茶会	10	312
新春の集い	1	110
通所施設（浦島共同作業所、青桐茶房、せせらぎ、ひかりの里、ほのぼの、ペガサス、わかば工芸）運営委員会	27	27
法人（ペガサスの会、ドレミファ会）運営委員会、総会	3	84
にじの会（ボランティア）例会	9	9
喫茶コーナー（せせらぎ）	28	670
合計	94	1,514

(7) 地域会議等

名称	回数	人数
神奈川区自立支援協議会	10	11
神奈川区スタッフ連絡会	3	31
退院促進支援協議会	12	15
はーと友事務連絡会	4	4
市精連 横浜精神保健福祉研究所スタッフ会議	4	4
合計	33	65

(8) 地域移行・地域定着支援事業

平成 18 年 10 月からのモデル事業に引き続き、平成 19 年度から本格実施しています。

平成 23 年度は、支援対象者 13 人のうち、5 人が退院しました。

支援対象者数	病 名	帰 結	退院後の帰来先
13 人	・統合失調症 12 人 ・その他 1 人	・退院 5 人 ・支援継続 6 人 ・支援終了 2 人	・生活訓練施設 2 人 ・自宅 1 人 ・救護施設 1 人 ・その他 1 人

23 年度も、鶴見西井病院及び紫雲会横浜病院で当事者及び病院関係者を対象として、ピアサポーターやボランティアも参加し、同事業の啓発活動（体験発表・資源紹介・交流会）を実施しました。

実施場所	実施回数	参加当事者数	参加支援者数
紫雲会横浜病院	7 回	96 人	80 人
鶴見西井病院	8 回	138 人	84 人

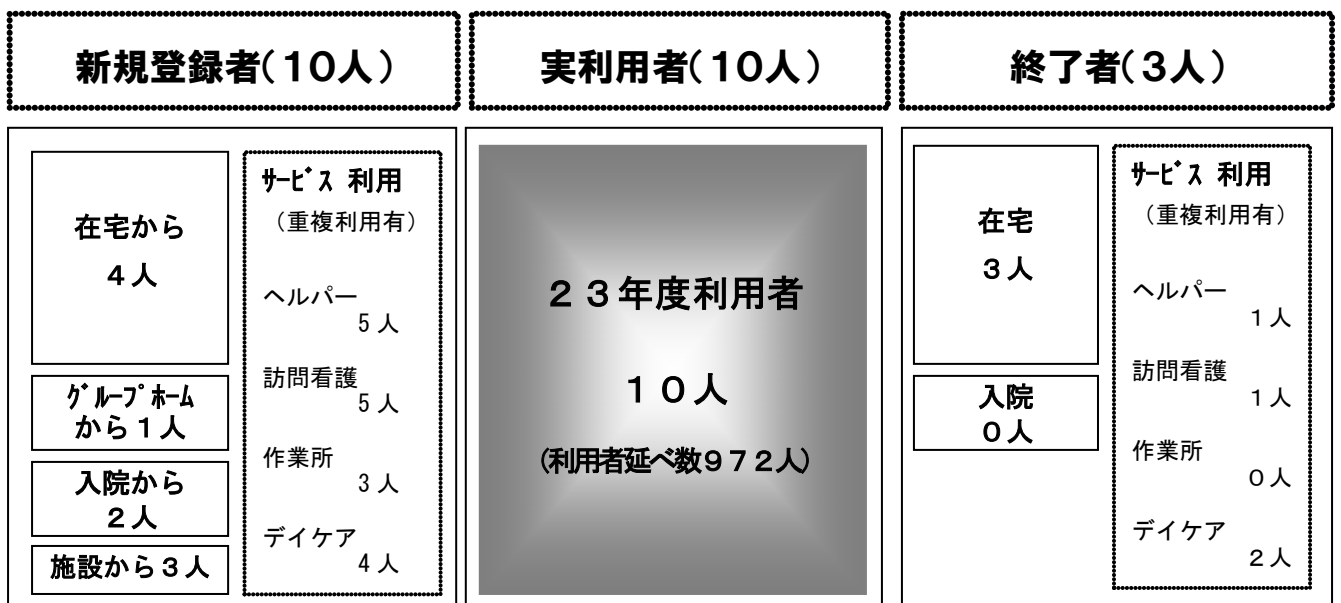
(9) 横浜市障害者自立生活アシスタント事業

単身等で生活する方を対象に、アウトリーチ型の生活支援を展開しました。訪問の他に必要に応じて外出同行なども行いました。事業開始となった今年度の実利用者は 10 人でした。

「一人暮らしを始めるのでサポートを受けたい」「金銭管理がうまくできるようになりたい」などの個別のニーズに対応しながら、施設の専門性を活かし、利用者の社会適応力・生活力を高めるオーダーメイドの支援を展開しました。

本人のストレングスを活かした支援、本人にとってより自分らしい地域での生活を目指しました。

平成 23 年度 自立生活アシスタント 利用者の状況



本表は23 年度中における登録、利用、終了の状況をそれぞれ示したものである。したがって利用者及び終了者は23 年度中の終了者とは限らない。

## 23年度利用者の状況、支援方法・内容

### <世代別・男女別>

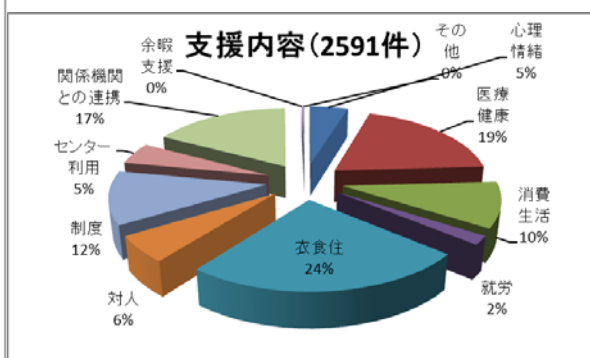
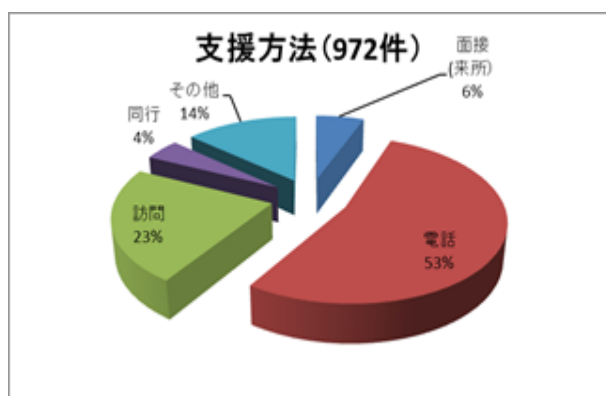
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性		2	1	2		5
女性	1	2	1		1	5
計	1	4	2	2	1	10

### <利用目的>

①自立生活 (②以外)	②自立生活 (同居家族 の高齢化・ 死亡)	③退所後の 生活の安定	④退院後の 生活の安定	⑤その他	合計
4		4	2		10

### <世帯状況>

家族同居	単身	合計
0	10	10



### (10) 地域支援事業

平成21年1月から

- ア 地域住民を対象とした精神保健福祉に関する普及啓発活動
- イ 精神疾患を有する人等を対象とした講座や居場所づくり
- ウ 利用につなげていない当事者、家族の把握・支援を実施しています。

平成23年度は、菅田地域ケアプラザにおいて、フリースペース「ふらっとホット菅田」として、毎月2回のペースでお菓子作りやストレッチなどを通して交流・相談を行いました。

### (11) リワークフォローアップ事業

平成22年5月から、総合保健医療センター精神科デイケアの「復職サポートプログラム」の修了者を対象として、生活面のフォローアップを行う事業を毎月1回実施しています。

### (12) 発達障害者支援事業

今年度はモデル事業として、3名の方を対象に発達障害者支援センターと連携を取りながら、



全6回の日常生活スキル講座を行いました。

平成23年度横浜市精神障害者生活支援センター精算内訳

施設名：横浜市神奈川区精神障害者生活支援センター

運営法人：財団法人横浜市総合保健医療財団

【支出】

科 目	当初予算額				執行額				差引増△減			
	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント	計	生活支援センター運営	地域移行・地域定着	自立生活アシスタント
人件費	56,225,000	37,672,000	6,184,000	12,369,000	57,414,065	38,467,424	6,315,547	12,631,094	△ 1,189,065	795,424	131,547	262,094
所長	3,743,000				3,750,700				△ 7,700			
常勤職員	26,449,000				29,037,414				△ 2,588,414			
非常勤職員	12,349,000				12,403,335				△ 54,335			
アルバイト	2,350,000				900,582				1,449,418			
調理アルバイト	2,406,000				2,754,858				△ 348,858			
嘱託医賃金	1,008,000				252,000				756,000			
法定福利費	6,028,000				6,635,213				△ 607,213			
退職給与引当金	1,700,000				1,492,900				207,100			
福利厚生費	54,000				60,000				△ 6,000			
労務厚生費	138,000				127,063				10,937			
施設管理費	7,813,000	6,407,000	781,000	625,000	7,081,534	5,806,858	708,153	566,523	731,466	△ 600,142	△ 72,847	△ 58,477
光熱水費	4,051,000				3,832,254				218,746			
庁舎管理	3,873,000				3,634,380				238,620			
修繕積立金	300,000				0				300,000			
入浴サービス等実費徴収額	△ 411,000				△ 385,100				△ 25,900			
運営費	3,464,000	2,840,000	347,000	277,000	3,690,857	3,026,503	369,086	295,268	△ 226,857	186,503	22,086	18,268
旅 費	435,000				339,700				95,300			
消耗品費	900,000				413,741				486,259			
印刷製本費	18,000				15,160				2,840			
修繕費	600,000				725,095				△ 125,095			
通信運搬費	462,000				550,038				△ 88,038			
賃借料	337,000				297,975				39,025			
備品等購入費	343,000				242,990				100,010			
保険料	209,000				192,530				16,470			
雑費	160,000				913,628				△ 753,628			
本部繰入金	0				0				0			
合 計	67,502,000	46,919,000	7,312,000	13,271,000	68,186,456	47,300,785	7,392,786	13,492,885	△ 684,456	381,785	80,786	221,885